

マラウイ通信

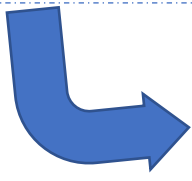
【教育事情】

私は、教育現場に直接関わっていないので詳しい教育事情を知らませんが、情報を集め概要だけでも伝えたいと思います。マラウイでは初等教育8年→中等教育4年→大学といった順序で進学を進めていきます。初等教育と中等教育においては無償化されています。しかし、様々な家庭問題、女子生徒の妊娠や5年生以降は授業が英語で行われる事などにより授業についていけない生徒も多いようです。さらには先生の数も教室の数も足りていないのが現状です。同期隊員の学校を具休例に挙げてみますと、初等教育の学校で一クラスの生徒約150〜180人。全校生徒の多い学校では、50000人以上にも及ぶ学校もあります。教室は足りていないので低学年の授業は木下で行われていきます。実際にその様な状況では先生も生徒全員に目を配ることが出来ず、



真面目に授業に参加出来る生徒は一部だという事です。日本の義務教育のような整った環境の中で勉強が出来ている国は世界の中では一部に過ぎないという現実がここにありました。子供の頃に勉強嫌いだつた私でしたが、いかに自分たちが恵まれた環境の中で教育を受けていたかを再確認させられます。子供の頃の教育というものが、いかに大切か。それはこの国の様々な分野に影響を与えていることを日々目の当たりにしています。学業だけでなく、学校での集団生活や、躰があつてこそ、将来を担う大人として社会で活躍できるのだと感じました。世界中の子供たちが平等に教育を受けられる日が来ることを願う教育分野では日々活動に励んでいます。

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院



もし1000人なら
こんな感じ

- 初等教育入学者 : 98人
- 初等教育卒業学年在学者 : 51人
- 中等教育進学資格保有者 : 32人
- 中等教育進学者 : 18人
- 中等教育修了試験合格者 : 10人
- 大学進学者 : 1人

無償だしほとんどの子供が入学
家庭の事情や、授業についていけない(途中から英語での授業)
国家試験をクリアしなければ進学できない
国家試験をクリアしたとしても労働の選択をする子供も
わずか1割程度
1人行けるか行けないかの世界

【薬剤師??】マラウイではマラリアシーズンも終盤です。マラリアに加えて今年はコレラも大流行しており pharmacy (薬局) が連日大忙し。何かできる事は無いだろうかと、最近は薬局に顔を出し業務改善を企てています。しかし、現実にはそう簡単にはいかず試行錯誤しても進まないのが現状です。そんな状況だからこそ薬剤師の手伝いをしながら現場に潜入しています。といっても単なる労働力の一人としてお手伝いをしています。まさか薬局で薬詰めをするとは、日本に居た頃は想像もしていませんでしたが、作業してみると意外に楽しいものです。現場で現場を見ながら少しでも成果を生み出せるといいのですが。



【一般家庭】
先日、一般的な家庭にお邪魔し夕飯をご馳走になりました。一家の主は36歳で、家族7人で暮らしています。庭にはメイズ畑やカボチャ畑があり、豚や鶏を飼いながらほとんど自給自足の生活を行っているようです。屋内は4帖ほどの土の上にゴザを敷いて生活していました。私が訪れた時は初めての日本人に少し緊張していた感じでしたが、とても賑やかで温かい家庭でした。精一杯私をもてなす為に大切な鳥を絞めて捌いてくれ、庭でとれた新鮮なカボチャとメイズを振舞ってくれました。味付けが無いので野菜そのものの甘味を味わうことができ、ローカルで温かい貴重な体験ができました。



最近、しつこく絡んでくるマラウイ人や、道端でのチャンチュン攻撃(中国人を意味する言葉)にも慣れてきました。初めはストレスにもなっていたのですが、上手に交わすテクニックを取得することが出来たようです。現代の日本社会特に都会では近所付き合いが無かったり、他人にそこまで関与しない事が普通ですよ。しかし、マラウイでは他人の行動に周囲の人がとても介入してきます。数日任地を離れると、同僚から電話で「いつ帰ってくるのか」「帰ったら電話してくれ」道端でも知らない人が「どこに行っていたのか」など質問の嵐です。みんな寂しがり屋なのか暇なのか分かりませんが、とても他人の行動に興味を持ちたがるようです。どちらも善し悪しはありますが、程よい距離感とは難しいですね。